



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月6日

上場会社名 Oak キャピタル株式会社
コード番号 3113 URL <http://www.oakcapital.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 竹井 博康

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理財務部長 (氏名) 秋田 勉

TEL 03-5412-7474

四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第3四半期 | 6,317 | 74.2 | 1,687 | 133.2 | 1,689 | 133.7 | 1,575 | 145.8 |
| 26年3月期第3四半期 | 3,626 | — | 723 | — | 723 | — | 640 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第3四半期 | 33.53 | 32.68 |
| 26年3月期第3四半期 | 15.33 | 15.00 |

(注)平成26年3月期第3四半期につきましては、連結業績を開示していたため四半期財務諸表を作成しておりませんが、参考情報として、平成26年3月期第3四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率を記載しております。

(2) 財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|-------|---|-------|------|--------|------|----------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | % |
| 27年3月期第3四半期 | 7,406 | — | 6,714 | 90.5 | — | 90.5 | 138.74 | — |
| 26年3月期 | 4,380 | — | 4,192 | 95.7 | — | 95.7 | 90.39 | — |

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 6,701百万円 26年3月期 4,191百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-----|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 0.00 | — | — | 0.00 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 27年3月期(予想) | — | — | — | — | — |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

当社の事業特性上、株式市場の変動要因による影響が極めて大きく、合理的な業績予想の算定が困難であることから、業績予想の開示は行わず、四半期決算の迅速な開示に努めるとともに、合理的な予想が可能となりました段階で速やかに開示を行う予定であります。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 27年3月期3Q | 48,331,620 株 | 26年3月期 | 46,398,620 株 |
| 27年3月期3Q | 29,219 株 | 26年3月期 | 25,864 株 |
| 27年3月期3Q | 46,984,032 株 | 26年3月期3Q | 41,809,606 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

特記すべき事項はありません。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| 第3四半期累計期間 | 6 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |
| (重要な後発事象) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成26年4月1日から平成26年12月31日まで)におけるわが国経済は、政府の経済政策や円高是正により、企業収益が改善されるとともに、雇用需給も好転するなど、緩やかな回復基調が続いてまいりました。

一方、国内株式市場は、円安傾向が強まる中、企業業績のさらなる拡大期待と、GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)の運用株式のウェイトの引き上げの決定により、上昇の機運が高まってまいりました。また、2020年開催予定の東京五輪に向け、設備投資が活発化するとともに、事業拡大を狙ったM&Aが増加傾向にあることから、企業の資金ニーズは確実に増加していくものと予想されます。

(投資回収及びキャピタルゲインの状況)

当第3四半期におきましては、投資先企業の営業支援等に重点を置く活動を実施いたしました。また、9月から10月にかけて株式市場の下落から、株式売却による投資回収を控えたことにより、当第3四半期における営業投資有価証券売上高は11億56百万円、キャピタルゲインは4億48百万円にとどまりました。その結果、当第3四半期累計期間のインベストメントバンキング事業における営業投資有価証券売上高は63億9百万円(前年同期は36億21百万円)、キャピタルゲインにつきましては、23億63百万円(前年同期は13億40百万円)となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高63億17百万円(前年同期比74.2%増)、営業利益16億87百万円(前年同期比133.2%増)、経常利益16億89百万円(前年同期比133.7%増)、四半期純利益15億75百万円(前年同期比145.8%増)となりました。

また、ROE(株主資本利益率)につきましては、第2四半期の26.6%から28.9%に上昇いたしました。

通期業績におきましては、過去最高益を目指すとともに、財務体質の更なる強化を推進し、経営の重要課題である復配などの株主還元策につきましても早期に実施できるように取り組んでまいりたいと考えております。

なお、これらの詳細は、以下のとおりであります。

| | 前第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 営業投資有価証券売上高(千円) | 3,621,502 | 6,309,271 |
| 投資収益(千円) | 3,100,711 | 6,296,787 |
| その他の営業収益(千円) | 520,790 | 12,484 |
| 営業投資有価証券売上原価(千円) | 2,281,369 | 3,945,811 |
| 投資原価(千円) | 2,281,369 | 3,945,811 |
| キャピタルゲイン(千円) | 1,340,133 | 2,363,459 |

(事業活動内容及び今後の活動)

当社は新興市場及び小型株市場の上場企業を対象とした資金調達支援並びに再生企業向けの資本政策や成長支援を側面から支援する投資銀行業務を展開し、企業価値の向上を目指す企業に対し、積極的に成長支援を実施してまいりました。

企業は将来に向け積極的な成長戦略やイノベーションを進めていることから、引き続き、資金調達は活発となると予想され、当社のインベストメントバンキング事業の主力であるエクイティファイナンス引受業務の役割は、ますます重要性が増してきております。

今後も上場会社向けエクイティファイナンス引受けを実施し、資金調達並びに事業成長の後押しなど、企業価値を高める支援を通じて、当社の社会的責任を果たしていく所存であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の総資産につきましては、前期末に比べ、30億25百万円増加し74億6百万円となりました。増加した主な要因は、営業投資有価証券の投資回収の進捗により現預金が増加したこと及び当社が保有している上場株式の株価上昇により営業投資有価証券が増加したためであります。負債は、前期末に比べ、5億3百万円増加し6億91百万円となりました。純資産は、前期末に比べ、25億21百万円増加し67億14百万円となりました。増加した主な要因は、当期純利益の計上及び当社が保有している上場株式の株価上昇によりその他有価証券評価差額金が増加したためであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当社の事業特性上、株式市場の変動要因による影響が極めて大きく、合理的な業績予想の算定が困難であることから、業績予想の開示は行わず、四半期決算の迅速な開示に努めるとともに、合理的な予想の算定が可能となりました段階で速やかに開示を行う予定であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成26年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,349,711 | 2,925,811 |
| 売掛金 | 2 | 49,982 |
| 営業投資有価証券 | 2,207,427 | 3,602,745 |
| 短期貸付金 | 380,000 | 385,000 |
| 1年内回収予定の長期貸付金 | 4,166 | 416 |
| その他 | 30,627 | 29,147 |
| 貸倒引当金 | △30,000 | △30,000 |
| 流動資産合計 | 3,941,934 | 6,963,104 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 55,539 | 60,449 |
| 無形固定資産 | 3,432 | 3,502 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 12,122 | 17,677 |
| 関係会社社債 | 200,000 | 200,000 |
| 投資不動産 | 313,545 | 313,545 |
| その他 | 42,799 | 42,165 |
| 貸倒引当金 | △200,000 | △200,000 |
| 投資その他の資産合計 | 368,467 | 373,389 |
| 固定資産合計 | 427,440 | 437,341 |
| 繰延資産 | 11,456 | 5,566 |
| 資産合計 | 4,380,831 | 7,406,011 |

(単位:千円)

| | 前事業年度 (平成26年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 未払金 | 18,038 | 16,643 |
| 未払法人税等 | 12,818 | 140,419 |
| 繰延税金負債 | 1,401 | 394,481 |
| 訴訟損失引当金 | 40,000 | — |
| その他 | 25,546 | 36,462 |
| 流動負債合計 | 97,805 | 588,006 |
| 固定負債 | | |
| 繰延税金負債 | 1,922 | 3,624 |
| 退職給付引当金 | 73,990 | 86,615 |
| 環境対策引当金 | 3,245 | 3,245 |
| 資産除去債務 | 9,386 | 9,480 |
| その他 | 1,551 | 266 |
| 固定負債合計 | 90,096 | 103,233 |
| 負債合計 | 187,902 | 691,239 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,401,555 | 3,512,395 |
| 資本剰余金 | 3,566,291 | 3,677,083 |
| 利益剰余金 | △2,770,455 | △1,195,271 |
| 自己株式 | △10,395 | △11,348 |
| 株主資本合計 | 4,186,996 | 5,982,858 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,756 | 718,648 |
| 評価・換算差額等合計 | 4,756 | 718,648 |
| 新株予約権 | 1,176 | 13,264 |
| 純資産合計 | 4,192,929 | 6,714,771 |
| 負債純資産合計 | 4,380,831 | 7,406,011 |

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 当第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日) |
|--------------|--|
| 売上高 | 6,317,593 |
| 売上原価 | 3,945,811 |
| 売上総利益 | 2,371,781 |
| 販売費及び一般管理費 | 684,742 |
| 営業利益 | 1,687,039 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 4,844 |
| 有価証券利息 | 3,164 |
| その他 | 3,004 |
| 営業外収益合計 | 11,012 |
| 営業外費用 | |
| 社債発行費等償却 | 6,937 |
| その他 | 1,423 |
| 営業外費用合計 | 8,360 |
| 経常利益 | 1,689,690 |
| 特別利益 | |
| 固定資産売却益 | 12 |
| 訴訟損失引当金戻入額 | 15,000 |
| 特別利益合計 | 15,012 |
| 特別損失 | |
| 固定資産売却損 | 405 |
| 固定資産除却損 | 1,634 |
| その他 | 148 |
| 特別損失合計 | 2,187 |
| 税引前四半期純利益 | 1,702,515 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 127,874 |
| 法人税等調整額 | △542 |
| 法人税等合計 | 127,331 |
| 四半期純利益 | 1,575,184 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社はインベストメントバンキング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。